

相模湖地区 小・中学校の学習環境のあり方

検討協議会ニュース

Vol.8

現状維持か 統廃合か

「相模湖地区小・中学校の学習環境のあり方検討協議会」では、9月に保護者説明会を実施して相模湖地区の学校の現状や検討協議会の状況について説明するとともに、10月下旬から11月上旬にかけて、小・中学生とその保護者、未就学児の保護者を対象とした、相模湖地区における今後の学習環境に関するアンケートを実施しました。

保護者説明会の質疑応答では、今後の学校のあり方に関して、「学校の統廃合」に関する質問や意見が多く出され、また、実施したアンケートでも、学校の統廃合に関する質問を設け、保護者の方や子どもたちの思っていることや考えていることを知ることが出来ました。

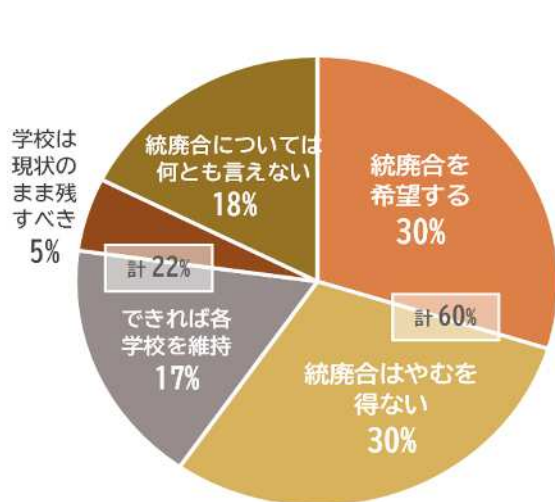
アンケートの結果も踏まえ、今後、検討協議会としての考えをまとめていきます。

👉 統廃合についてどう思う？

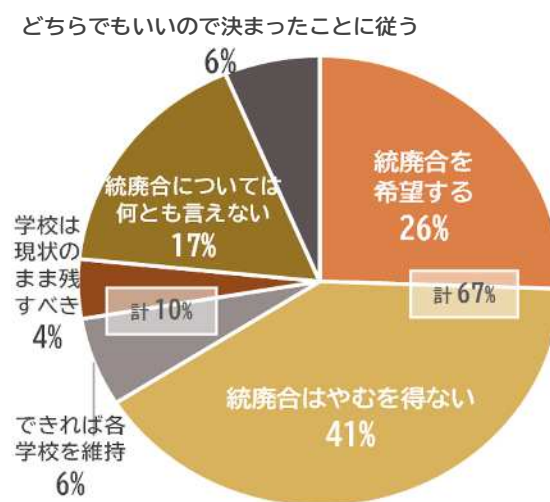
貴重なご意見をたくさんいただき、
ありがとうございました



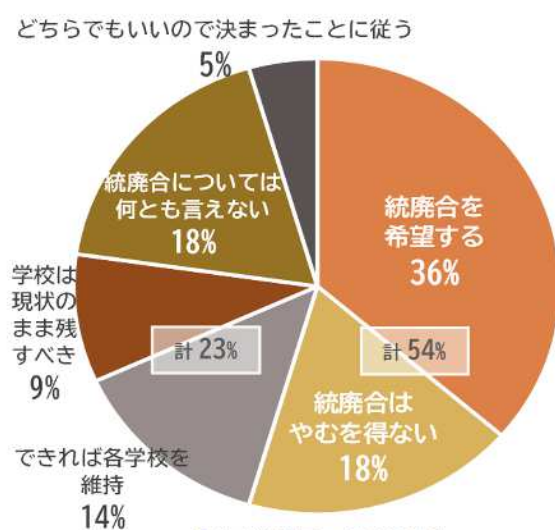
Q. 相模湖の現状などを踏まえ、学校の統廃合に関するあなたの考えを教えてください。



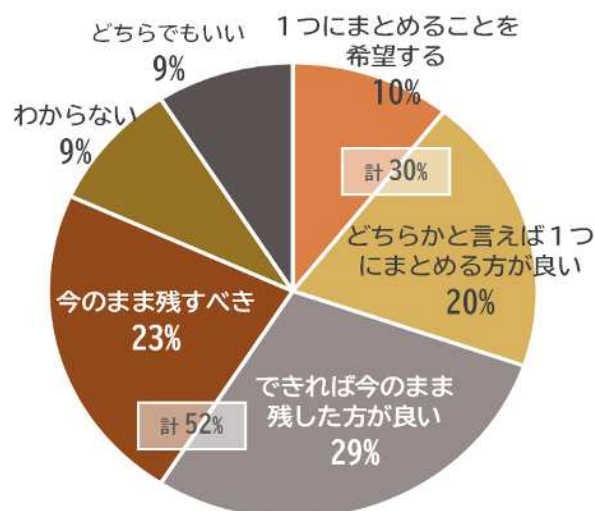
【小学生の保護者】



【中学生の保護者】



【未就学児の保護者】



【中学生】

説明会とアンケートから見たこと

保護者説明会の結果



- 【目的】 相模湖の小中学校の現状や検討協議会の取組について知っていただくとともに、より良い学習環境を考えるきっかけとするため開催しました
- 【対象】 小・中学生の保護者、未就学児の保護者
- 【日時】 ①9月23日(火・祝) ②9月25日(木)
- 【参加者】 ①の日程：10名 ②の日程：7名

説明会での主な意見など

* 説明会の資料や結果はこちらからご覧いただけます



【資料】



【結果】



統合をせずに子どもたちが多様性に触れられる環境が作れるのか

I C Tの活用による交流授業などが実現できるのであれば、過小規模校のデメリットは無くせるのではないかと



統合したとしても過小規模の状況からは抜け出せないと思うが、やはり5人よりは10人、10人よりは15人が良いと思っている

アンケートの結果



- 【目的】 相模湖地区の学習環境に関する保護者や小・中学生の考えを伺いました
- 【対象】 小・中学生の保護者、未就学児の保護者、小学生、中学生
- 【時期】 10月24日(金)～11月3日(月)
- 【内容】 より良い学習環境の実現に向け必要だと思うこと、重要だと思うこと、相模湖の学習環境が子どもたちにとってどうなっていくのが良いか、など

【結果】 全体回答数 192件

(内訳) ①小学生とその保護者 57件 ②中学生の保護者 47件
③未就学児の保護者 22件 ④中学生 66件

より良い学習環境の実現に向けて、「多様な見方・考え方に触れ、社会性や協調性を養う機会が多くなること」を支持する方が多くいる一方、「一人ひとりに目が届き、教員からのきめ細やかな指導を受けることができる」という少人数の良さを重視する方もいました。また、「登下校の安全性」と「放課後の居場所」についても多くの回答がありました



「統廃合を希望する」「統廃合はやむを得ない」の主な選択理由としては、「学習や活動の幅を拡げるため」「多様性や社会性を育むため」といった「教育環境の改善」や、「高校進学時のギャップへの対応」「人間関係の経験を増やす」といった「子どもたちの将来のため」といった意見が多く見られました

一方、「できれば各学校を維持」「学校は現状のまま残すべき」の主な選択理由としては、「学校が遠くなり登下校が困難になる」「スクールバスや通学手段が不透明」といった「通学の安全面への懸念」に関するものが保護者・中学生ともに多く、他には、今の「少人数の環境の良さ」や「地域の学校が無くなることへの不安」などの意見が見られました

* アンケート集計結果はこちらから



【概要版】



【詳細版】

デメリットを小さくするためには？

令和7年12月2日(火)、11回目の検討協議会を開催しました。今回はアンケートの結果を確認すると共に、これまでの検討やアンケートの結果を踏まえ、「統廃合を進めた場合」と「現状を維持した場合」のメリット・デメリットを整理し、「どうすればデメリットを最小化することが出来るか」、4つのグループに分かれて意見を出し合いました。具体的な今後の学校のあり方(=方向性)について、これまでも意見として出ることはありましたが、直接的な検討を行ったのは今回が初めてでした。

統廃合を進めた場合は、**通学手段と地域との関わり方**に関する方策などが出され、現状を維持した場合は、**様々な交流を強化**する方策が出される一方、デメリットの最小化は難しいという意見が出る項目もありました。



【グループワークシート】

📌 デメリット最小化策の検討

デメリット

▶ 学校が遠くなる児童生徒が発生

【最小化策】→

スクールバスの導入

路線バス・乗合タクシーの費用助成

児童生徒と地域が一緒に利用できる新たな交通のあり方を検討

▶ 災害発生時の対策

(※学校が遠くなることにより、災害発生時に自宅に帰れない、保護者が迎えに来られない等の状況になる児童生徒への対応)

【最小化策】→

休校等の事前判断の迅速化

保護者が迎えに来ることが出来ない状況への対策を明確化

子どもが待機できる避難所としての学校の機能の充実

地域での児童生徒の一時的な預かり対応

▶ 環境の変化による子どもの精神的負担

【最小化策】→

統廃合までの期間の事前交流(運動会や校外学習)

教職員間の交流

▶ 学校が無くなる地域が発生

【最小化策】→

各地域で開催される祭りなどに児童生徒が参加し地域との交流強化

校舎は各地区に残し、子どもの居場所として跡地活用

小学校と中学校をそれぞれ別の地区に統合

統廃合を進めた場合

▶ 人間関係の固定化

【最小化策】→

交流強化

2学年合同の複式学級の試験運用

デュアルスクールの導入
↓
大規模校と交換留学

▶ 男女の偏りの可能性増

【最小化策】→

*最小化不可

▶ 他校との交流強化
▶ 地域の協力を得て子どもたちが交流する機会を創出

▶ 5人以下のクラス(学年)の発生

【最小化策】→

*最小化不可

▶ 異学年交流の強化
▶ コミュニティバスを交流に活用

▶ 高校進学時の人数ギャップ

【最小化策】→

▶ 各地区に交流場所として児童館を設置

スポーツクラブ・習い事など各家庭で対策

現状を維持した場合

* 次回の検討協議会

1月下旬～2月上旬頃 19時から

@相模湖総合事務所 大会議室

(詳細は事務局にご確認ください。)

* 検討協議会の議事録や資料は、次の場所でご覧いただけます。

@ 相模湖行政資料コーナー(相模湖総合事務所2階)

@ 相模湖・千木良公民館 @ 相模湖地区の各小・中学校

* 「検討協議会ニュース」の

バックナンバーなどは

こちらから(市HP)

